

2008 年度活動方針

今日、日本の政策、企業活動および消費行動が、地球上の様々な野生生物界に多大な悪影響を与えています。JWCS は、「野生の世界は野生のままに」という理念に立ち、「野生生物の利害の代弁」「安易な人為化を避ける」「予防原則を徹底する」という 3 つの基本原則に則って活動テーマを決定しています。第 1 には、地球規模の野生生物保全に対する日本の影響力がとりわけ大きい野生生物の商業利用問題に取り組むことです。第 2 には、保全の国際的フラッグシップとなっている野生動物とその生息環境を保全するフィールド活動を、啓発された日本の人々の手で支援できるようにすることです。第 3 には、以上の取組みによる成果が長期的に保障されるよう、日本の現世代・次世代を担う人々に野生生物保全に関する教育を受ける機会を提供することです。

JWCS は、この 3 つのテーマについて、それぞれ具体的な事業計画を立て、国内外の NGO 等と国際的に協力しつつ、調査研究、監視・提言、普及啓発・教育を行います。また、これらの事業のあり方は、JWCS の理念、基本原則を含む実践的理論研究によって不断に検証していきます。

2008 年度 事業計画

特定非営利活動法人 野生生物保全論研究会

研究会の運営

1 理論研究会

本・ブックレットの出版

2 保全教育研究会

小学校～高校での授業、動物園、博物館での教育活動を目的とした保全教育実践ハンドブック出版

調査提言活動

1 野生生物保全情報のデータベース化

世界の野生生物保全の動向を把握する。

2 JUSTICE（日本における野生生物犯罪のデータベース化）

データの分析方法と公表・提言のあり方：調査研究担当理事、専門家（法律）による検討委員会を設置。データベース構築 と 第 1 次報告書の刊行

3 スローロリス販売状況調査

4 スローロリス等密輸ペット動物問題に関する国際シンポジウム

5 CITES（ワシントン条約）モニタリング

国内象牙・ユウタン市場の監視

生息地支援（トラ保護基金・ゾウ保護基金）

- 1 トラ保護基金・インド 200 万円
ナグジラ野生生物サンクチュアリ・ナウエアゴン国立公園コリドー プロジェクト
- 2 トラ保護基金・インド 170 万円
トラ保護区レンジャーへのパトロールキット支援およびワークショップ開催
- 3 トラ保護基金・インド 15 万円
インド側担当者（WTI）を日本に招聘し、報告会・イベントを実施
- 4 ゾウ保護基金・インド 150 万円
カルビ・アングロン丘陵 保護地域拡大・管理 プロジェクト
- 5 ゾウ保護基金・アフリカ支援について 150 万円
政治状況をよく検討し、支援を検討する。

普及啓発

- 1 総会後の講演会
- 2 ワイルドライフカレッジ（学生および一般向け講座の開催）
入門講座（年2回）基礎講座（年1回）実践講座（年2回）
- 3 出張授業
学校からの依頼に応じて実施しながら、機会拡大のための広報活動を行う
- 4 展示パネル貸出システムの整備
不足しているパネルの作成、パネル等展示用品のデータベース化、貸し出しシステム
の立ち上げ、宣伝、実施と評価
- 5 イベント出展
アフリカンフェスタ（5月）、みなと区民まつり（10月）、エコプロダクツ展（11月）な
ど、各プロジェクトと関連するイベントの NGO ブースに出展する。
- 6 阪神タイガースと岡田監督によるトラ保護基金支援活動の広報

会報発行

- 1 会報発行
活動報告版（年4回）論説版（年2回）
トラ保護基金・ゾウ保護基金支援者向け通信および年次報告書（各年1回）
- 2 ウェブサイト運営

平成 20 年度特定非営利事業に係る事業会計収支予算書

特定非営利活動法人 野生生物保全論研究会

科 目	金 額 (単位：円)		
I 収入の部			
1 入会金収入		0	
2 会費収入			
・ 正会員会費	1,500,000		
・ 支持会員会費	200,000	1,700,000	
3 セミナー等収入		700,000	
4 補助金等収入		2,430,000	
5 寄付金収入		8,760,000	
6 雑収入		130,000	
7 支援支出取崩収入		6,850,000	
8 繰越金から繰り入れ		2,000,000	22,570,000
当期収入合計 (A)			
II 支出の部			
1 事業費			
(1) 研究会の運営	780,000		
(2) 野生生物保護プロジェクト			
① 調査提言	1,890,000		
② 生息地における野生生物保全活動に対する支援	6,850,000		
③ 普及啓発	5,076,000		
④ 国際会議開催	70,000		
(3) 会報発行	1,640,000	16,306,000	
2 管理費			
給与	1,536,000		
雑給	864,000		
法定福利費	90,000		
通勤交通費	168,000		
通信運搬費	210,000		
水道光熱費	240,000		
旅費交通費	50,000		
会議費	10,000		
消耗品費	375,000		

備品	70,000		
新聞図書費	5,000		
修繕費	400,000		
租税公課	1,000		
諸会費	5,000		
リース料	93,000		
支払手数料	50,000		
慶弔費	30,000		
予備費	67,000	4,264,000	
3 支援金支出積立			
支援金支出積立支出	2,000,000	2,000,000	22,570,000
当期支出合計 (B)			0
当期収支差額 (A-B)			